

明るいう房後

房後連絡協議会 編集
平成十七年六月二十三日発行
第 二 百 二 十 二 号

空梅雨？

このごろの天候、気象が気にかかる

今年の春はいい天候に恵まれ農作業も順調に終わりました。しかし、このころ、梅雨に入ったというのに、いっこうに雨に恵まれません。(この記事を書いた二二日現在、曇り空なのに)田の方はなんとか水があるようですし、中干しに時期にもさしかかっていますが、畑の方が大変です。野菜類の成育が良くないようです。ここで一雨ほしいものです。でも、あまり降り過ぎて大洪水になっても困ります。世の中は、なかなか思うようにならないものです。

ふれあいサロン

竹の筒募金開始

今日は昨日の二二日に行われました。参加者は三〇名で、高美園の中野園長から介護保険についてのお話を伺いました。

今月から、竹の筒募金に取り組むことになりました。この竹筒は、谷川巧さんが提供された竹を、上田芳男さんが一つ一つ丁寧に全会員が使えるよう五〇数個作られたものです。いずれもボランティアとしてされたもので、会員は感謝感激です。会員の家庭では一日一円以上の筒に入れ一年後に取り出して福祉関係に使用することになっています。

来月は一九日、高宮中学校の一年生全員が四人の先生方の引率でふれあいセンターにやってくる予定です。大人と子どもとの接触が少なくなっている現在、とてもいい企画といえましょう。

育成会(子ども会)新役員

未定となっていた「房後子ども育成会」の役員が次の通り決まりました。

- 会長 吉岡正典
 - 副会長 川崎真二 行森俊荘
 - 会計 六郷 寛 (以上敬称略)
- 前任の会長、森川純三さん、長い間お世話になりました。ご苦労様でした。

掲載

◆一九日開催された農協の酒米部会の総会で、蛋白の少ない優秀な米を生産したとして吉田博さんが表彰を受けられました。そして、理事監事には南京極則之さんに替わって房後からは森川榮治さんが選出されました。

◆五日ニュージールランド村で開催された「お田植え祭」の準備、運営、後片づけに振興会から会長の他、麦の会桑岡明、松川勝巳、区長会谷川五郎の皆さんが出られました。

明泉寺関係記録

ご誕生法座のアトラクション

今月五日のご誕生法座は沢山のお参りがあつたので、昼食時のアトラクションも盛り上がりしました。左はその時のプログラムです。

- 一、気味わるい声の正体 土曜学校(写真) ↓
- 二、親鸞さま(舞踊) 表郷
- 三、廣島天国(舞踊) 下房後
- 四、ハモニカ演奏 ひまわりサウンズ
- 五、木曾節(舞踊) 勘部
- 六、湯島の白梅 下房後 蘭舞会
- 七、よさこい鳴子ばやし 表郷
- 八、オカリナ演奏 新迫

夏休み子どもの本願寺参り募集中

高田北組の「子ども本願寺参り」が今年八月三日から一泊二日で実施の予定で、ただいま募集中です。申込期限は今月末となっています。旅行会費二万三千元。詳しいことは明泉寺にお聞き下さい。なお、今回の旅行の引率は、教覚寺と明泉寺です。

老人会追弔会

都合によって一日延期して十九日の日曜日に営われました。昭和三八年の老人福祉法施行の年に亡くなられた篠塚トモさん(八〇才)以来一五四名の六〇歳以上の物故者の追弔会でした。毎年平均三名から四名亡くなられています。一昨年暮れの土居清太郎さんからの一年半の間には、お一人も亡くなられておりません。なお、この追弔会では太平洋戦争での戦死者二一名の方の追弔会も営まれましたが、最初が昭和一七年で以後急速に増え、その半数の一〇名の方が、昭和二〇年、終戦の年の戦死者でありました。



今年も下房後は

麦秋となりました

昨年もお伝えしましたが、下房後の森川榮治さん、吉中計さん、吉貞隆城さんの三人で数年前から転作の麦栽培をしておられます。今年は合計で三反ばかりでしたが、このほど刈り取りが行われました。三人共同の仕事で、通常の稲刈り用とは別の麦や大豆などを収穫するための「汎用コンバイン」を使って刈り取りされました。

今年には麦には程良い天候に恵まれたためか反当たり五〇〇キロ(八俵)以上の収穫をあげられたようです。収穫された麦は、農協のカントリーで乾燥され、県内約三〇町歩で栽培された麦とともに、福山にある製粉工場に送って麦茶として加工され、全国に販売されることになっています。

なお、これは余談ですが、「麦秋」とは辞書によれば、麦の取り入れ時・初夏のころ、むぎあきとも言うことがあります。昔は稲の後に麦を植えるいわゆる二毛作が多く、田植え前の忙しい時期に刈り取ったものです。